佳作

がんばれ！妹

福島県　会津坂下町立坂下東小学校四年　石田　倭士

ぼくの妹は六才、ようち園の年長組です。みんなと比べると小さい妹には、今練習していることがたくさんあります。名前が書けるようになること、なわとびができるようになること、はしや鉛筆を正しく持つことなどです。

今年の夏休み、ぼくは妹に名前の書き方を毎日教えました。妹の名前はひらがなで丸める文字ばかりなので鏡文字になったり丸められなかったりでなかなかうまく書けず、

「もうおわり。」

と言って泣きそうになりながらにげてしまいます。

「練習するとちゃんと書けるようになるからがんばろ。にぃにが教えてあげるから。」

とはげますといじけた顔して戻ってきます。ぼくの宿題が終わってからが練習の時間です。妹の好きなキラキラの鉛筆やかわいいノートを使うとがんばって書いてくれました。

一週間くらい続けた時、妹はぼくのとなりで「な」を書くことができました。

「にぃーかけたー。」

とおおはしゃぎの妹を見て、

「やったー。じょうずに書けたね。」

と、たくさんほめてあげました。ほめられるとジャンプしてよろこび、

「にぃー教えてくれてありがとう。」

と言われ、「まだ一文字だよ。あと二文字あるよ」と思ったけど、書けた文字を見てよろこぶ妹を見ててもうれしかったです。

「もうすこしがんばる？」

と聞くと、

「うん。やるよー。」

とやる気まんまんだったので、他の文字も教えてみると丸めるコツをおぼえたのかすぐに書くことができました。お母さんに書けるようになったことを教えると、

「倭士が毎日一生けん命教えたからだね。倭士もがんばったね。」

と言われ、ちょっと照れくさくなりました。

ぼくの妹は、みんなよりも早く産まれたので身体が小さめです。言葉も少しおそかったけど、今はみんなに負けないくらいおしゃべりでなまいきです。正直、ぼくはそんな妹のことが心配で仕方ないです。だから、みんなができて妹のできないことは教えてあげたいし、できるようになった時のうれしさをいっしょに感じたいと思ってます。来年の春、一年生になるまでに練習していることができるようになるといいなと思います。次はなわとび。

「なる、いっしょにがんばろー。にぃにが教えてあげるから。」